



京大広報

No. 603

2005. 7

目次

〈大学の動き〉

- 「京都大学ローム記念館」竣工記念式典を挙
行……………1964
- カリフォルニア大学デービス校と職員インター
シップ交流プログラム協定を締結……………1964
- 人権に関する研修会の開催……………1965
- 永年勤続者表彰式を挙……………1965

〈部局の動き〉

- 木の文化再生をめざした j.Pod 木造建物の完成
……………1966
- 基礎物理学研究所で湯川秀樹博士のユネスコ
メダルをスミ夫人へ伝達……………1967
- 日本学術振興会拠点大学交流事業により
LIPI(インドネシア科学院)長官が来学……………1967

〈寸言〉

- ダークブルーの復興 富江 徹……………1968

〈随想〉

- 大学における放射線影響研究に思う
名誉教授 佐々木正夫……………1969

〈洛書〉

- レトロウイルスとヒト 松岡雅雄……………1970

〈訃報〉

- ……………1971

〈日誌〉

- ……………1972

〈資料〉

- 役員報酬等および職員の給与の水準の公表
について……………1972

〈話題〉

- 京都大学未来フォーラム(第13回, 第14回, 第15回)
を開催……………1978
- 大学院情報学研究科 杉本明洋さんの
世界陸上2005出場が決定……………1978
- 医学部附属病院でボランティアによる
「水無月コンサート」を実施……………1979
- 医学部附属病院で安全管理研修会を実施……………1979

〈公開講座〉

- 霊長類研究所東京公開講座—サルからわかること
：ラボからフィールドまで—……………1980

〈編集後記〉

- ……………1980



京都大学ローム記念館竣工式典を挙
行
—関連記事 本文 1964ページ—

京都大学広報委員会

<http://www.kyoto-u.ac.jp/>

尾池総長から、被表彰者代表の榎喜久子医学部附属病院看護師長に表彰状および記念品が授与され、被表彰者の永年の勤労に感謝する祝辞が述べられた。続いて、榎被表彰者代表から答辞が述べられ、厳かな雰囲気の中で表彰式は終了した。

総長式辞は総長室ホームページをご覧ください。

http://www.kyoto-u.ac.jp/uni_int/01_sou/050620_3.htm



答辞を述べる榎看護師長

部局の動き

木の文化再生をめざした j.Pod 木造建物の完成

小林正美地球環境学堂教授のグループ（鴻池組・桃季社・トリスミ株式会社・John Barr Architect）が共同開発した新たな木造建築工法“j.Pod”とフィールド科学教育研究センター（フィールド研）が進めてきた“森里海連環学”構想が合流し、総長裁量経費の支援を得て、フィールド研北白川試験地（北部構内）ならびに和歌山研究林（有田郡清水町）にモデル建物が完成した。4月14日（木）には北白川試験地において尾池和夫総長の、同28日（木）には和歌山研究林において辻文三副学長の出席のもと竣工披露と記者発表を行った。

この j.Pod 工法は従来の木造建物に比べて耐震性

に非常に優れ、さらに低価格のため、日本の森に数10年間眠り続けている自前の木材を活用する道を開く可能性を秘めたものとして注目を集めている。それは20世紀からの“宿題”とも言える森の再生と都市の再生を一元的に実現する流れを生み出す可能性を有している。外界と呼吸する j.Pod 木造建物は、心の豊かさを育む学校教育現場には最適であり、すでにポケットゼミ等に利用され、会話がはずむなど好評を博している。今後、「森と都市の対話」を基調に、この京都と京都大学から人と自然の共存を展望した“木の文化再生”への広がりが期待される。

（フィールド科学教育研究センター）



北白川 j.Pod でのポケゼミ風景



和歌山研究林 j.Pod 教育研究棟全景